

## 第110回医師国家試験対策委員会活動報告

委員長 上地 大樹 (5年次)

初夏の風に肌も汗ばむ頃となってまいりました。琉球大学医学部同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から皆様のお支えもあって6年生をはじめ学生皆が勉強に励むことが出来る事に感謝申し上げます。

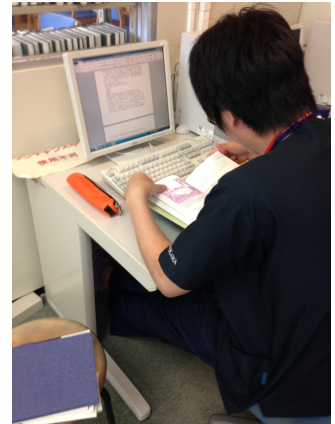
さて、改めまして第110回国試対策委員会の委員長を務めさせていただいております5年次の上地大樹(うえち ひろき)と申します。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。第109回医師国家試験終了後から先輩達の仕事を引き継ぐ形で始まりました国試対策委員ですが早くも数ヶ月が過ぎました。5年生45名で構成されます本委員会は人数の少ない31期においては約5割の学生が所属しており、学年一丸となって国試対策に力を注いでいる状況です。

本委員会の活動を簡単にご紹介いたしますと国試全員合格を目指して勉強に対する意欲向上と模試などの国試に関するイベントのとりまとめ、国試当日の受験生サポートを主な活動としております。また、年に2回、九州地区の各大学で活動している国試対策委員会が一同に会して情報交換や連携を深めるため九州ブロック会への参加もしております。現在の国対活動といたしましては、主に近々琉球大学にて開催される九州ブロック会の準備と並行して模試の運営や各予備校の講座受講サポートを行っております。

早速ですが、今回ご紹介する国対活動といたしましては国試当日の国対委員の活動内容を第109回医師国家試験を受験された先輩方のアンケートを踏まえてご紹介したいと思います。まず、現在の国家試験受験に際しましてはホテル合宿という形で試験会場近くに宿泊所を予約しており、受験生の多くがこのホテルに試験前日から宿泊して受験に臨みます。ホテルにおきましては委員会のメンバーが待機しており、食事の手配や体調不良者への対応、各予備校から送られてくる直前情報の配布、受験票の



管理などを行っております。また、試験が始まったあとは大学で待機しております解答作成班が試験問題のガイドライン分析、解答が割れた問題の解説作成などを行っております。また試験終了後も解答に対する質問を受け付けており試験当日は朝から夜遅くまで受験生のサポートを行っております。第109回国試を受験された先輩方のアンケートからもほぼ全員が宿泊所を利用してよかったとの感想をいただいております。この解答作成に関しましても大手予備校よりも利用しやすかったとの感想が多く聞かれました。この解答作成は九州地区では琉球大学のみが行っており、これから参加する4年生も含めると100名近くになる国対委員と受験生の協力体制により実現しております。この場をお借りして皆様のご協力に感謝申し上げます。また、前年度の反省から国試に近い形での模試の回数を増やすため国試本番と同じ日程おこなう模試の回数を増やすことが決定するなど毎年改善をしていくための会議が定期的に行われています。



話は変わりますが現在、琉球大学の国試受験生にとって国試と並ぶほどのイベントが総合試験であります。これは、従来行われていた卒業試験の代わりになるもので5年次に1回、6年次に2回行われてそれぞれ、進級・卒業判定に利用されております。この総合試験の登場により以前に比べ国試そのものに対する取り組みのスタートが早まった印象を受け、同様に予備校のビデオ講座などの受講スピードも上がったようです。この総合試験では残念ながら毎年数名の人が留年となっていますが我々国試対策委員会では6年生全員が国試を受け合格できるようにサポートすることが最大の目標でありますので、総合試験の分析や、それを利用しいかに国試合格に繋げていく様々な取り組みを考え実行していきたいと思ひます。

最後になりましたが、我々は大学に携わる多くの皆様、同窓会として後押しして下さる先輩の皆様、友人や家族などの多くの人々の支えによって勉学に集中することができています。その感謝の気持ちを忘れず良き医療人となるため日々努力していきたいと思ひます。